

# 中学校社会科における知識・技能の活用を図る 学習活動に関する指導展開例の作成

## 《補助資料目次》

1	中学校社会科における知識・技能の活用を図る学習活動に関する指導展開例（一例）	
	【資料1】中学校社会科における「活用」の考え方……………	1
	【資料2】「明治維新」（第2学年）の指導展開例……………	3
	【資料3】「武家政治の始まり」（第1学年）の指導展開例……………	7
2	授業実践で使用した単位時間毎の指導展開案	
	【資料4】「明治維新」（第2学年）の指導展開案……………	11
	【資料5】「武家政治の始まり」（第1学年）の指導展開案……………	16
	【資料6】「暮らしを支える経済」（第3学年）の指導展開案……………	21
3	事後テストと事後意識調査（一部）	
	【資料7】「明治維新」（第2学年）の事後テスト……………	26
	【資料8】「武家政治の始まり」（第1学年）の事後テスト……………	27
	【資料9】「暮らしを支える経済」（第3学年）の事後テスト……………	28
	【資料10】事後意識調査（第1学年）……………	29

平成22年2月18日  
岩手県立総合教育センター  
長期研修生  
所属校 軽米町立軽米中学校  
及 川 仁

## 【資料1】中学校社会科における「活用」の考え方

### 1 中学校社会科における「活用」の基本的なとらえ

「『活用』に関する指導資料」（岩手県教育委員会，2009）に基づき、中学校社会科においては、以下のような学習活動を、知識・技能の活用を図る学習活動ととらえています。

#### 中学校社会科における「活用」のとらえ

学習活動	具体的な内容
読み取り	問題解決に必要な資料を収集・選択するとともに、資料から必要な情報や事実を読み取る
解釈	読み取ったことを比較・関連付け・総合しながら再構成し、社会的事象の意味、意義を解釈する
説明	事象の特色や事象間の関連を考え、それらを自分の言葉で表現する
論述	考えたことを伝え合い、話し合いをとおして互いの考えを発展させる

### 2 「活用」を意識した授業を展開するときの留意点

#### (1) 問題解決的な学習に「活用」を位置付ける

「活用」に関する学習活動は、児童生徒の思考の流れにそった意味ある学習活動として展開していく必要があります。そのためには、「課題把握→予想→追究→交流→まとめ」といった問題解決的な学習過程の中に「活用」に関する学習活動を位置付けた授業を展開していく必要があります。基本的には右図のように位置付けていくことが考えられます。

問題解決的な学習過程	「活用」
I 課題把握 (情報の収集・分類・比較、問題の発見)	読み取り
II 予想 (予想の提示、仮説の設定)	
III 追究 (仮説の根拠となる資料の収集、検証)	解釈
IV 交流 (検証結果の説明、意見交換)	
V まとめ(ふり返り) (まとめ、応用、新しい問いの発見)	説明
	論述

問題解決的な学習と「活用」の関係

#### (2) 学習内容を構造化してとらえる

本指導展開例では学習指導要領が示す指導事項や指導内容を基に、単元の学習内容の構造化図を例示しています。社会科の学習は、ややもすると個別事象の並列的な提示と記憶に傾いて、ひとまとまりの学習内容の焦点がつかみにくくなりがちだと指摘されます。基礎的・基本的な知識、概念や技能の確実な習得と、その活用を図る学習活動を展開するためには、各単元で指導すべき学習内容を構造化してとらえることが必要です。その上で、何を読み取らせ、何を考えさせ、何を表現させるのかを整理していきます。

#### (3) 言語活動の充実を図る

中央教育審議会答申（平成20年1月）で示されているように、基礎的・基本的な知識、概念や技能の確実な習得とともに、その活用を図る学習活動の基盤をなすのは言語能力であり、その育成のためには言語活動の充実が不可欠です。答申では「資料から必要な情報を集めて読み取る」「社会的事象の意味、意義を解釈する」「事象の特色や事象間の関連を説明する」「自分の考えを論述する」活動を一層重視することが示されています。

これまでも様々な資料を適切に収集、活用して事象を多面的・多角的に考察・判断し、適切に表現するなど、創意工夫がなされた授業が行われてきています。すなわち、今回の改訂の要である言語活動の充実は、現行の学習と立場や方向が同じものと言えます。「活用」という全く新しい学習活動があるのではなく、これまでも行ってきた言語活動にかかわる学習を一層充実する観点に立って、指導を行っていく必要があります。

### 3 資料の見方

#### (1) 単元の指導計画等について

1年社会 歴史的分野「武家政治のはじまり」

学習内容の構造化図

(3) 中世の日本  
ア 鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などを通して、武家政治の特色を考えさせ、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかわりが見られたことを理解させる。  
イ 農業などの諸産業の発達、機内を中心とした都市や農村における自治的な仕組み、禅宗の文化的影響などを通して、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会が生まれたことを理解させる。

単元の評価規準

○社会的事象への関心・意欲・態度  
武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きに対する関心を高め、意欲的に追究し、文化遺産を尊重しようとしている。  
○社会的な思考・判断  
武家政権の成立とその後の政治、社会、文化の動きから課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。  
○資料活用の技能・表現  
文化の動きに関する様々な資料を収集し、適切に選択してをまとめたり、説明したりしている。  
文化の動きを、我が国の歴史とかかわる東アジア世界の歴史と見なしている。

**学習指導要領で示されている内容を表しています**

単元指導計画

時数	学習内容	観点別評価規準評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	武装する豪族たち ・武士のおこり ・平氏政権	武家政権の成立とその後の動きに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。			武士がどのようにして登場し、力を伸ばしていったのかを考察することができる。
2	いざ鎌倉 ・鎌倉幕府 ・御恩と奉公			展開案を示した時間を表しています	将軍と御家人が土地を仲立ちにした主従関係を結んでいたことを指摘することができる。
3	承久の乱〜どちらに味方するか〜 ・承久の乱 ・執権政治 【展開例】		多くの御家人が幕府側について味方をし、土地を仲立ちにした主従関係から考えることができる。		主従の結びつきや武力を背景にして幕府が支配を広がっていたことを指摘することができる。
4	武士と民衆の暮らし ・いざ鎌倉 ・市のにぎわい			諸資料から、武士と民衆の生活の様子について読み取り、まとめることができる。	
5	おしよせる元寇 ・元寇 ・復讐令		東アジアの動きと関連させながら3度目の元寇がなかった理由を考察することができる。		幕府がおとろえた理由を、元寇の影響や政治、社会の変化から指摘することができる。

授業で扱う個別事象を表しています

#### (2) 展開案について

中1年 歴史「武家政治のはじまり」 3/5時 承久の乱

本時の概要

朝廷と幕府の二重支配となっていた鎌倉初期において、「承久の乱」は武士の支配を全国に広げる転機となる大きな出来事であった。承久の乱における御家人の立場を追究させることをとおして、既習の「御恩と奉公」の関係の大きさを実感させるとともに、承久の乱がもたらした影響について考えさせます。

指導のねらい

主従の結びつきや武力を背景にして理解させる。

展開例

時	学習活動
1	幕府成立から承久の乱までの経緯のあらましを振り返る。
2	学習課題を確認する。 <b>承久の乱 ～御家人はどどちらに味方するか～</b>
3	資料（上皇の命令と北条父子の会話）を読み取り、自分ならばどどちらに味方するかを考える。 (1) 上皇側・幕府側・迷っているのどれかを選択し、そう考えた理由をまとめる。 (2) グループでそれぞれの考えを交流し、交流後の立場を明らかにする。
4	資料（北条政子の訴え）を確認し、最終的にどどちらに味方するかを考える。 (1) 上皇側・幕府側・迷っているのどれかを選択し、そう考えた理由をまとめる。 (2) 全体で意見を交流する。
5	承久の乱の結果を確認する。
6	なぜ多くの御家人が幕府側に味方したのか、承久の乱は幕府側、朝廷側にどんな影響を与えたのかをまとめる。
7	鎌倉時代の武士と庶民は、どんな暮らしをしていたのか、次時への課題意識を持つ。

活用 1 資料から上皇側と幕府側の関係を読み取らせる ○○○ 読み取り

あなたが当時の御家人ならば、上皇側、幕府側のどちらに味方しますか。資料を見て考えましょう。

資料①「当時の幕府側・朝廷側の支配地」(省略)

資料②「北条義時討討の宣言」  
近ごろの鎌倉の政治は大変な乱れに陥り、推挙がいつまでたっても決まらず、それで執権北条義時はなにごとにつけても尼持親軍の北条政子の命令を仰いで、政治や裁きを全国に及ぼしている。朝廷をおそれぬその仕事は、実に許しがたい。よって、全国の武士たちに命令である。執権北条義時を打ち倒せ。(院宣とは別の密書で)この命令に従ったものには、ほうぼう望むままに与えられると心得よ。(『小松英一博士所蔵文書』ほか要約)

幕府側には御恩と奉公の関係があるけれど、上皇は命令に従えば、ほうぼうは望むままだといっている。

上皇は、将軍が幼く、北条義時や北条政子が勝手に政治をしているのが許せないといっている。

資料③「北条父子の会話」  
義時「父上、これからの戦の時に、もし、上皇が自ら兵を率い、先陣に立って攻めてこられたら、どういたしますか。私は、上皇に弓を向けても良いのでしょうか。  
義時「義時、もし上皇が自ら陣立されたら、私は、上皇に弓を向けても良いのでしょうか。上皇は、北条氏よりも強い存在。」  
「(増補)ほか要約」

幕府が地頭を置くことができたのは東日本だけ。上皇側の方もまだ強かったのではないかと。

留意点  
・複数の資料を用意し、必要な情報を選択、活用させます。自分の考えの根拠となる部分にアンダーラインを引かせる。ノートに箇条書きで書き出させる等させながら読み取らせませす。  
・グループで読み取ったことを交流させ、個人の段階で不十分だった部分を補わせます。

活用 2 承久の乱についてまとめさせる ○○○ 説明

知識・技能の活用を図る学習活動の具体的な進め方、資料、留意点などを示しています

実際  
①承久の乱  
②承久の乱  
③承久の乱

説明の流れ  
①承久の乱により御成敗式目が制定され、武家制の影響が広がったことを確認する。  
なぜ、幕府側の勝利に終わったのでしょうか。乱の結果は幕府側、朝廷側にどのような影響を与えたのでしょうか。話し合ったことを振り返ってまとめてみましょう。

私は迷っているだけだった。北条政子の言ったように、御恩と奉公の関係を大切にしたいと考えた武士が多かったから幕府が勝ったと思う。この結果、幕府は東日本だけでなく、全国に支配を広げることができた。一方、朝廷側は弱体化していった。一方、朝廷側は弱体化していった。一方、幕府側は強くなった。

留意点  
・全体で考えを出し合いながら教師がまとめていく。「幕府の支配は…」など書き出しを示す。「御恩・奉公・西日本」などのキーワードを示すなど、実態に応じて段階的に指導します。

2年社会 歴史的分野「明治維新」

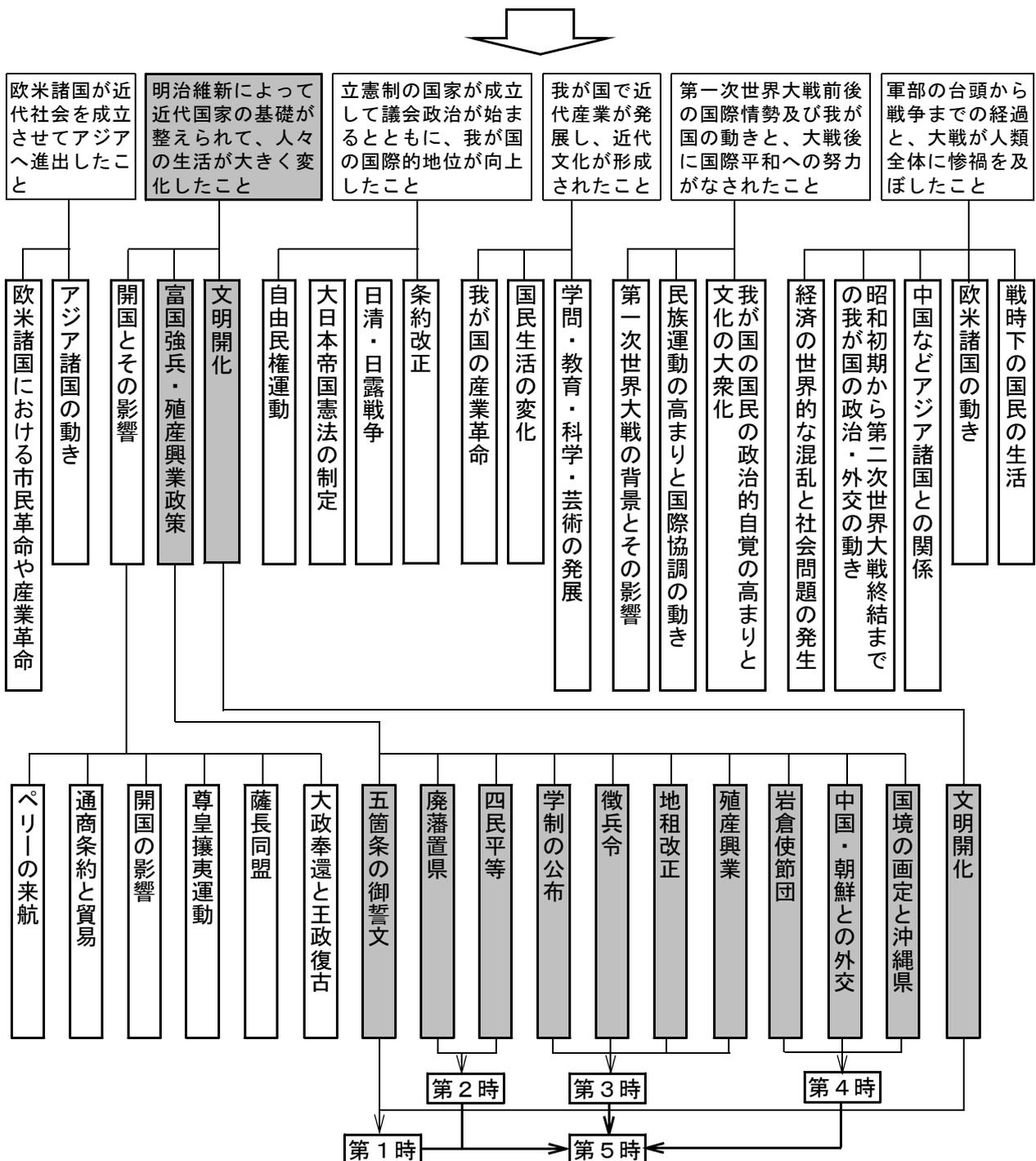
学習内容の構造化図

(5) 近代の日本と世界

ア 略

イ 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。

ウ～カ 略



## 単元の評価規準

### ○社会的事象への関心・意欲・態度

明治維新の経緯のあらましや人々の生活の大きな変化に対する関心を高め、意欲的に追究している。

### ○社会的な思考・判断

明治維新の経緯のあらましや人々の生活の大きな変化を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。

### ○資料活用の技能・表現

明治維新の経緯のあらましや人々の生活の大きな変化に関する絵画、グラフなどの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。

### ○社会的事象についての知識・理解

明治維新の経過のあらましを、世界の動きを背景に理解するとともに、近代国家の基礎が整えられたことに気付き、その知識を身に付けている。

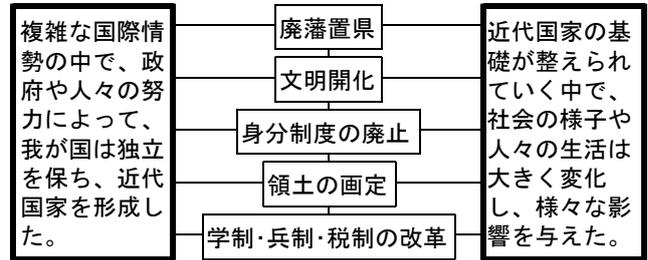
## 単元指導計画

時数	学習内容	観点別評価規準評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	明治維新 ・明治維新 ・文明開化 ・五箇条の御誓文	明治維新によって社会のしくみや人々の生活がどのように変化したのか意欲的に調べようとしている。	諸改革の目的について、欧米諸国のアジア進出と関連づけて考えることができる。		
2	すべてを新しく ・版籍奉還 ・廃藩置県 ・解放令 ・四民平等		江戸時代のしくみと版籍奉還、廃藩置県後のしくみを比較し、改革の意味・意義について考えることができる。		新政府が行った諸改革によって、近代的な中央集権国家の体制が確立していったことを理解することができる。
3	富国強兵をめざして ・地租改正 ・学制 ・徴兵令 ・殖産興業		明治政府が行った富国強兵政策の特色について、目的や影響、以前の時代との違いから考えることができる。		税制、兵制、学制の改革により、列強に対抗出来る国力をつけ、国家の保全を目指したことがわかる。
4	国際関係の確立 ・岩倉使節団 ・樺太・千島交換条約 ・征韓論			明治政府が行った外交について、考察した結果を地図にまとめ、説明することができる。	独立国家としての主権の確立を目指し、諸外国との外交により領土が画定したことがわかる。
5	明治か治明か ・新政府の諸改革の評価  【展開例】		明治維新の経緯のあらましや人々の生活の大きな変化について、諸政策を関連させて考えることができる。	明治政府が行った諸政策について、自分の考えをまとめ、説明することができる。	

本時の概要

単元のまとめとして、これまで学習してきた新政府による諸改革の内容を、それぞれの関連を図に整理しながら振り返らせます。明治維新の全体像を確認した上で、諸改革の功罪について前時までの学習内容を根拠に自分なりの判断を持たせます。意見交流をとおして多様な見方や考え方に気付かせます。

学習内容の構造



指導のねらい

- ・ 明治維新の経緯のあらましや人々の生活の大きな変化について、諸政策を関連させて考えさせる。
- ・ 政府が行った諸政策の功罪について、根拠をもとに自分の考えをまとめ、表現させる。

展開例

段階	学 習 活 動
導 入	1 幕末の落首から明治維新への否定的な見方があったことを確認する。 「上からは明治だなどというけれど 治まるめいと下からは読む」 2 課題を確認する。 <b>新政府による改革によって日本は明るく治まったのだろうか</b>
展 開	3 新政府が行った諸改革の全体像について、前時までに作成した関係図をもとに確認する。 (1) それぞれの改革について簡単に振り返る。 (2) それぞれの改革について、関連しているところを考え、線を書き足していく。 (3) 改革が与えた影響を想起し、図に書き加えていく。資料集等も調べるように指示する。
開	4 完成した図を全体で確認し、新政府による改革によって日本は明るく治まったのか、自分の考えをまとめる。 (1) 自分の判断と、そう考えた根拠をまとめる (2) グループ内で意見交流し、考えをまとめる。 (3) 各グループの考えを全体で交流しあう。
終	5 他の人の考えを聞き、感じたこと、学んだことを振り返る。
末	6 明治維新により近代国家の基礎が整えられたが一方、急激な変革は人々に様々な影響を与え、自由民権運動につながっていくことを確認する。

活用

1

解釈

- 1) これまで学習してきた明治維新の諸改革について、各時間に作成した関係図をまとめる作業をとおして振り返らせます。
- 2) それぞれの改革で、関連し合っているものはないか考えさせ、線を加えていきます。
- 3) 諸改革が与えたマイナス面の影響について調べさせ、関係図に書き込ませ、全体で確認します。

活用

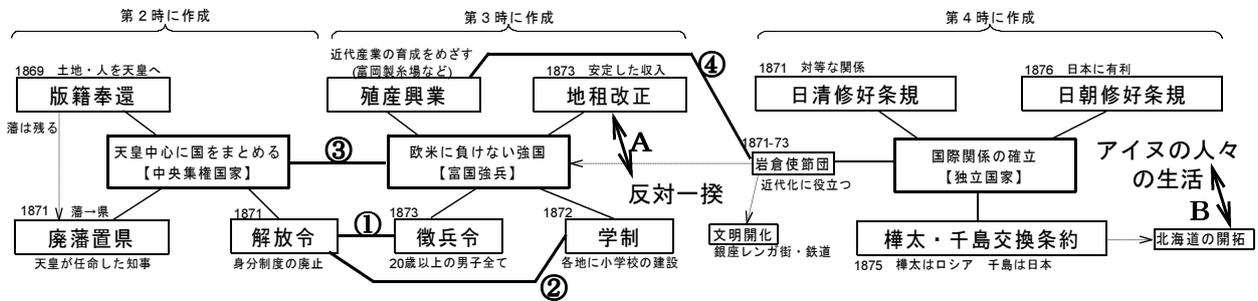
2

説明

- 1) 自分の考え（「そう思う」「ややそう思う」「ややそう思わない」「全くそう思わない」とそう判断した根拠をまとめさせる。
- 2) グループ内で発表し合い、グループとしての判断とその根拠をまとめ、発表させる。まとまらなかった場合はどのような意見が出たのかを発表させる。
- 3) 他者の発表から、自分と異なる見方、考え方があることを気付かせる。



政府が行った諸改革のうち、関連しているところをさらに線でつないでみましょう。また、改革が与えた影響を図に書き加えましょう。



①四民平等で士族だけでなく、全ての国民が兵役の義務を負った  
②身分に関係なくすべての子どもが小学校へ行けるようになった  
A 徴兵令や地租改正に対する不満も強く、各地で一揆がおこった



③全国一つにまとめたから、富国強兵のための改革を進めることができた  
④岩倉使節団が欧米の工業などを見てきたことが殖産興業に役立った  
B 北海道の開拓が進んだことで、アイヌの人々の生活の場が奪われた

留意点

・前時までに学習した内容を関係図にまとめる作業を通して、単元全体で学習した内容の関連をとらえさせます。一問一答式に用語を覚えさせるのではなく、他の歴史的事象と関連付けて事象の持つ意味を総合的に理解させることが大切です。



明治維新によって日本は明るく治まったのでしょうか。自分の考えとそう考えた理由をグループで交流してみましょう。

私は「ややそう思う」。一揆が起きたり困る人もいたけど、殖産興業で工場ができてたりして活気のある日本になったと思う。国力がついたから、植民地にならずに済んだとも言えるのでは。



僕は「そう思わない」。一揆の発生件数の資料を見ると、地租改正や徴兵令に反対する一揆が9年間で508件も起きている。近代化は進んだけど、国民の不満は大きかったのではないかな。



私たちのグループでは「ややそう思う」と判断しました。殖産興業や文明開化などによって近代化が進み、生活が良くなった部分もあります。だけど、反対の一揆が9年間で508件も起きているので、完全に明るく治まったとは言えないと思います。ただし、不平等条約が結べるくらい国力があがったことで、外国の植民地にならずにすんだともいえます。植民地になっていれば、国民はもっと大変だったと思います。

植民地になればもっとひどいというのはなるほどと思った。



留意点

・生徒一人一人に自分の考えをまとめさせるだけでなく、話し合いなど表現しあう活動をとおして、自分とは違う考えがあることに気づかせ、見方や考え方を深めていきます。

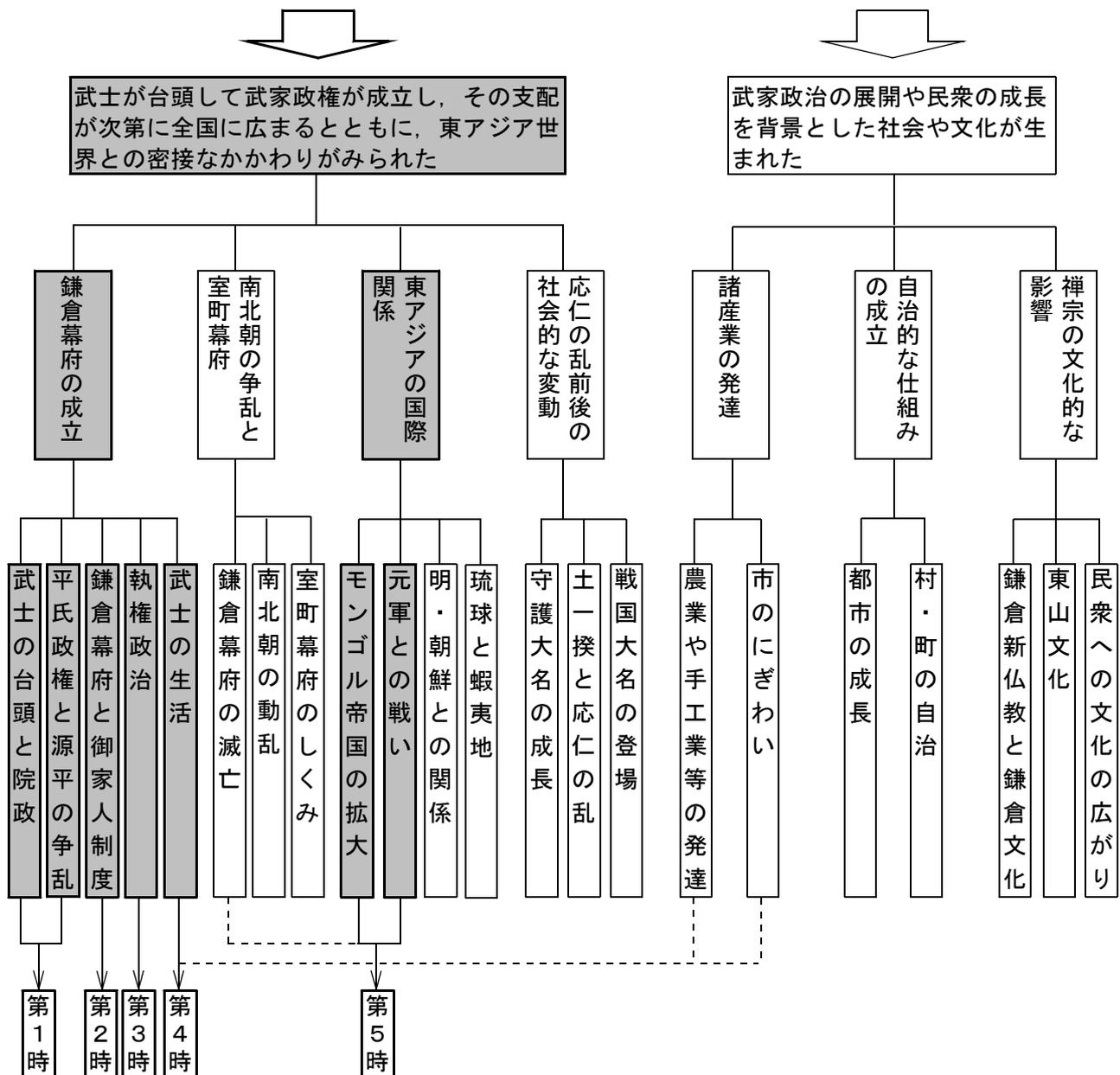
1年社会 歴史的分野「武家政治のはじまり」

学習内容の構造化図

(3) 中世の日本

ア 鎌倉幕府の成立，南北朝の争乱と室町幕府，東アジアの国際関係，応仁の乱後の社会的な変動などを通して，武家政治の特色を考えさせ，武士が台頭して武家政権が成立し，その支配が次第に全国に広まるとともに，東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解させる。

イ 農業などの諸産業の発達，機内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立，禅宗の文化的な影響などを通して，武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。



## 単元の評価規準

- 社会的事象への関心・意欲・態度  
武家政権の成立とその後の政治，社会，文化の動きに対する関心を高め，意欲的に追究し，文化遺産を尊重しようとしている。
- 社会的な思考・判断  
武家政権の成立とその後の政治，社会，文化の動きから課題を見だし，歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。
- 資料活用の技能・表現  
武家政権の成立とその後の政治，社会，文化の動きに関する様々な資料を収集し，適切に選択して活用するとともに，追究し考察した結果をまとめたり，説明したりしている。
- 社会的事象についての知識・理解  
武家政権の成立とその後の政治，社会，文化の動きを，我が国の歴史とかかわる東アジア世界の歴史を背景に理解し，その知識を身に付けている。

## 単元指導計画

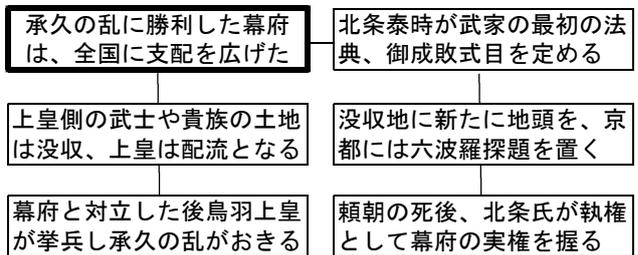
時 数	学習内容	観点別評価規準評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	武装する豪族たち ・ 武士のおこり ・ 平氏政権	武家政権の成立とその後の動きに対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。			武士がどのようにして登場し，力をのばしていったのかを理解することができる。
2	いざ鎌倉 ・ 鎌倉幕府 ・ 御恩と奉公		武家政治と古代の天皇や貴族の政治とを比較し，武家政治の特色を主従関係を基に指摘することができる。		将軍と御家人が土地を仲立ちにした主従関係を結んでいたことを指摘することができる。
3	承久の乱～どちらに味方するか～ ・ 承久の乱 ・ 執権政治 【展開例】		多くの御家人が幕府側についていた理由を，土地を仲立ちにした主従関係から考えることができる。		主従の結び付きや武力を背景にして幕府が支配を広げていったことを指摘することができる。
4	武士と民衆の暮らし ・ いざ鎌倉 ・ 市のにぎわい			諸資料から，武士と民衆の生活の様子について読み取り，まとめることができる。	
5	おしよせる元軍 ・ 元寇 ・ 徳政令		東アジアの動きと関連させながら3度目の元寇がなかった理由を考えることができる。		幕府がおとろえた理由を，元寇の影響や政治，社会の変化から指摘することができる。

# 中1年 歴史 「武家政治のはじまり」 3/5時 承久の乱

## 本時の概要

朝廷と幕府の二重支配となっていた鎌倉初期にあって、「承久の乱」は武士の支配を全国に広げる転機となる大きな出来事でした。承久の乱における御家人の立場を迫体験させることをとおして、既習の「御恩と奉公」の関係の大きさを実感させるとともに、承久の乱がもたらした影響について考えさせます。

## 学習内容の構造



## 指導のねらい

主従の結び付きや武力を背景にして、幕府がその支配を全国に広げていったことを理解させる。

## 展開例

段階	学 習 活 動
導 入	1 幕府成立から承久の乱までの経緯のあらましを確認する。 (1) 頼朝の死後、幕府内の勢力争いが続き、北条氏が執権として実権を握ったことを確認する。 (2) 北条氏と対立した後鳥羽上皇が挙兵したことを確認する。
	2 学習課題を確認する。 <b>承久の乱 ～御家人はどちらに味方すべきか～</b>
展 開	3 資料（上皇の命令と北条父子の会話）を読み取り、自分ならばどちらに味方するかを考える。 (1) 上皇側・幕府側・迷っているのどれかを選択し、そう考えた理由をまとめる。 (2) グループでそれぞれの考えを交流し、交流後の立場を明らかにする。
	4 資料（北条政子の訴え）を確認し、最終的にどちらに味方するかを考える。 (1) 上皇側・幕府側・迷っているのどれかを選択し、そう考えた理由をまとめる。 (2) 全体で意見を交流する。
終 末	5 承久の乱の結果を確認する。
	6 なぜ多くの御家人が幕府側に味方したのか、承久の乱は幕府側、朝廷側にどんな影響を与えたのかをまとめる。
	7 鎌倉時代の武士と庶民は、どんな暮らしをしていたのか、次時への課題意識を持つ。

活用

1

読み取り

- 1) 承久の乱について、上皇側と幕府側の関係を複数の資料から読み取らせませす。
- 2) 読み取った事実と、前時までに学習した「御恩と奉公」「院政」等を基に、自分の立場とその理由を考えさせませす。
- 3) グループでの交流をとおして、自分と異なる読み取りの視点や考えに気付かせませす。

活用

2

説明

- 1) 全体での意見交流の後、実際の乱の結果について確認させませす。
- 2) 幕府側の勝因と、承久の乱が幕府側、朝廷側にもたらした影響について、意見交流をふまえてまとめさせませす。
- 3) 自分の考えをうまく文章にまとめられない生徒に対して、キーワードや文の書き出しを指示するなど個に応じた指導を行います。



あなたが当時の御家人ならば、上皇側、幕府側のどちらに味方しますか。資料を見て考えましょう。

資料①「当時の幕府側・朝廷側の支配地」(省略)

#### 資料②「北条義時追討の宣旨」

近ごろの鎌倉の政治は大変乱れている。将軍がいるといってもまだ幼児である。それで執権北条義時はなにごとにつけても尼将軍の北条政子の命令であるといって、政治や裁きを全国に及ぼしている。朝廷をおそれぬその仕業は、実に許しがたい。

よって、全国の武士たちに命令である。執権北条義時を打ち倒せ。(院宣とは別の密書で)この命令に従ったものには、ほうびは望むままに与えられると心得よ。(「小松美一郎氏所蔵文書」ほか要約)

#### 資料③「北条父子の会話」

泰時「父上、これからの戦の時に、もし、上皇が自ら兵を率い、先頭に立って攻めてこられたならば、どういたしましょうか。私は、上皇に弓を向けても良いのでしょうか」

義時「泰時よ。もし上皇が自ら出陣されたときは、もはや我々は武器を捨て降伏するよりほかない。しかし、上皇が都にいて、その軍隊だけが攻めてきたなら、あくまで戦うがよい。」(「増鏡」ほか要約)

幕府側には御恩と奉公の関係があるけど、上皇は命令に従えば、ほうびは望むままといっている。

義時は上皇自ら出陣したら降伏するしかないと言っている。上皇は北条氏よりもえらい存在。

上皇は、将軍が幼なく、北条義時や北条政子が勝手に政治をしているのが許せないと言っている。

幕府が地頭を置くことができたのは東日本だけ。上皇側の力もまだまだ強かったのではないかな。



#### 留意点

- ・複数の資料を用意し、必要な情報を選択、活用させます。自分の考えの根拠となる部分にアンダーラインを引かせる、ノートに箇条書きで書き出させる等させながら読み取らせます。
- ・グループで読み取ったことを交流させ、個人の段階で不十分だった部分を補わせます。



実際に承久の乱はどのような結果に終わったのか確認しましょう。

#### 説明の流れ

- ①承久の乱の経過(勝敗)のあらまし、上皇の配流について確認する。
- ②承久の乱前後の鎌倉幕府の組織図を比較し、六波羅探題について確認する。
- ③承久の乱前後の守護・地頭配置図を比較し、新補地頭について確認する。
- ④北条泰時により御成敗式目が制定され、武家法の影響が広がったことを確認する。



なぜ、幕府側の勝利に終わったのでしょうか。乱の結果は幕府側、朝廷側にどのような影響を与えたのでしょうか。話し合ったことを振り返ってまとめてみましょう。



私は「迷っている」だったけど、北条政子の言ったように、御恩と奉公の関係を大切にしたいと考えた武士が多かったから幕府が勝ったと思う。この結果、幕府は東日本だけではなく、全国に支配を広げることができた。一方、朝廷側の力はおとろえてしまった。



僕は上皇側の味方だったけど、御家人たちは上皇や貴族に仕えていた昔の生活に戻りたくないと考えたから、幕府側に奉公したのだと思う。承久の乱に勝利した幕府は西日本にも支配を広げたが、朝廷は後鳥羽上皇が島流しになるなど、勢力が弱まった。

#### 留意点

- ・全体で考えを出し合いながら教師がまとめていく、「幕府の支配は…」など書き出しを示す、「御恩・奉公・西日本」などのキーワードを示すなど、実態に応じて段階的に指導します。

【資料4】「明治維新」（第2学年）の指導展開案

展開例	1 2 3 4 5	(時間)	目標	・政府が行った改革の目的について、開国や欧米諸国のアジア進出と関連づけて考えることができる ・社会のしくみや人々の生活がどのように変化したのかを意欲的に調べようとする。	
主な学習活動		具体的な教師の働きかけ		活用のポイント	資料
導入	1 既習事項の想起	○ 人々の生活の変化を、絵画（錦絵）から読み取らせ、短期間に大きな変化があったのはなぜか、その背景を確認する。	① 読み取り	①アヘン戦争 ②明治初期の銀座	
	2 学習課題の確認	○ 我が国は独立を保ち、急速な近代化を達成できたのはなぜか、課題意識を持たせる。 新しくできた政府は、どのような国づくりをめざして改革を進めたのか。			イギリス軍の砲撃により破壊される清の船の絵
展開	3 課題の追究 (1)明治維新の目的	○ 明治維新にいたる背景をもとに、当時の政府の人々はどのような国づくりを目指していたのか、予想させる。	② 解釈	④五箇条の御誓文 イギリス軍の砲撃により破壊される清の船の絵	
	(2)新政府の方針	○ 新政府が目指した国づくりについて、五箇条の御誓文で確認させる。	① 読み取り 資料を収集し、明治維新のあらましを年表にまとめるさせる。短期間に様々な改革が行われていることに気づかせる。		⑤明治10年ころまで年表（ワークシート）
終末	4 本時のまとめ	○ 気づいたことや疑問な点等を基に話し合い今後の学習課題を明らかにする。	③ 説明	⑤明治10年ころまで年表（ワークシート）	
	5 次時の確認	○ 作成した年表から次時への見通しを持たせる。（版籍奉還、廃藩置県、身分制度）			

展開例

1|2|3|4|5 (時間)

目標

・新政府が行った諸改革によって、中央集権国家の体制が確立していったことを理解することができる。

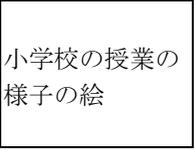
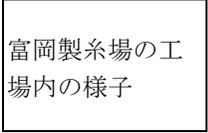
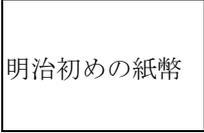
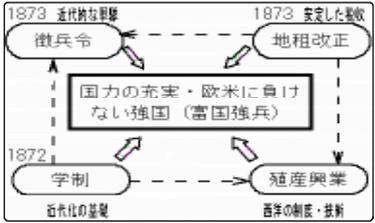
	主な学習活動	具体的な教師の働きかけ	活用のポイント	資料
導入	1 既習事項の想起 2 学習課題の確認 新政府はどのようにして政治や社会のしくみを変えていったのか。	○ 前時に作成した年表で確認する。 ○ 廃藩置県で私たちの地域がどう変わったのか読み取らせるとともに、藩を県に変える必要があったのはなぜか、考えさせる。	① 読み取り	①明治10年ころまで年表（ワークシート） ②廃藩置県（全国） ③廃藩置県（岩手） 廃藩置県時の岩手県の行政区分図 廃藩置県時の全国の行政区分図
展開	3 課題の追究 (1) 版籍奉還 (2) 廃藩置県 (3) 四民平等 (4) 中央集権国家の確立	○ 版籍奉還、廃藩置県、身分制度の廃止の経緯のあらましを、年表や教科書の記述などから調べさせ、ワークシートにまとめさせる。 ○ それぞれの改革が行われる前のしくみを、既習事項を想起させまとめさせる。 ○ 改革前後の社会や政治のしくみを比較させ、変化しているところに着目させる。 ○ 新政府が行った版籍奉還、廃藩置県の身分制度の廃止の意味、意義を考えさせる。 ○ 身分制度は完全にはなくならなかったことにふれる。	① 読み取り ② 解釈 封建社会が終わり、中央集権国家が確立した廃藩置県の意義を、江戸時代の幕藩体制との比較から考えさせる。	④明治10年ころまで年表（ワークシート） ⑤廃藩置県 江戸時代、版籍奉還時、廃藩置県時の統治のしくみ図
終末	4 本時のまとめ 5 次時の確認	○ 学習した内容を関係図にまとめ、簡単な図の説明を付け加えさせる。 ○ 作成した年表から次時への見通しを持たせる。（富国強兵、殖産興業政策）	③ 説明	⑥関係図 

展開例

1 2 3 4 5 (時間)

目標

・税制、兵制、学制の改革により、列強に対抗出来る国力をつけ、国家の保全を目指したことがわかる。

	主な学習活動	具体的な教師の働きかけ	活用のポイント	資料
導入	1 既習事項の想起 2 学習課題の確認 新政府はなぜ学制、税制、兵制の改革を行ったのだろうか。	○ 前時に作成した年表で確認する。 ○ 中央集権国家が確立した後、学制、税制、兵制の改革が短期間に行われていることを確認し、課題意識を持たせる。	① 読み取り	①年表（前時に作成したもの） 
展開	3 課題の追究 (1)地租改正 (2)徴兵令 (3)学制 (4)殖産興業	○ 税制、兵制、学制の改革のあらましを、資料を用いて説明する。 ○ 江戸時代と比較して変わったことについて、教科書や資料集などから調べさせ、それぞれの改革が行われた目的と、共通する目的を考えさせる。 (個人→4人グループ→全体) ○ 富国強兵を目指し、近代産業の育成を図っていたことについて説明する。	② 解釈 ③ 説明 江戸時代の制度がどのように変わっているのかに着目し、明治政府の行った改革の意味・意義を解釈させ、説明し合うことで互いの考えを深める。	②地券  ③徴兵告諭 ④小学校の授業風景  ⑤富岡製糸場  ⑥円制度 
終末	4 本時のまとめ 5 次時の確認	○ 学習した内容を関係図にまとめ、簡単な図の説明を付け加えさせる。 ○ 年表から次時への見通しを持たせる。(条約改正、外交)	③ 説明 キーワードを示し、前時のまとめを参考に一人一人に図を作成させ、説明させることで定着を図る。	⑦関係図（板書） 

展開例

1|2|3|4|5 (時間)

目標

・独立国家としての主権の確立を目指し、諸外国との外交により領土が画定したことがわかる。

	主な学習活動	具体的な教師の働きかけ	活用のポイント	資料
導入	1 既習事項の想起 2 学習課題の確認 新政府はどのように外交を進めたのだろうか。	○ 前時に作成した年表で確認する。 ○ 政府の主要人物が、長期間に渡り欧米諸国に派遣されたことを確認し、課題意識を持たせる。	① 読み取り	①年表（第1時に作成したもの） ②日米修好通商条約 ③岩倉使節団 岩倉使節団の中心になった人々の写真
展開	3 課題の追究 (1)不平等条約の改正 (2)領土の画定 (3)琉球と北海道	○ 不平等条約の改正は成功しなかったが、欧米の視察が後の近代化に役だったことに気づかせる。 ○ 清、朝鮮、ロシアとの関係について、教科書や資料集などから調べさせ、地図にまとめ説明させる。 ○ 領土の画定の中で、北方の警備と開拓、沖縄県が設けられたことを説明する。	② 解釈 ③ 説明 明治政府の外交によって領土がどのように画定していったのか、資料から読み取ったことを地図にまとめ説明させる。	④米欧回覧実記 ⑤岩倉使節団の行路 ⑥大久保から西郷への手紙 ⑦樺太・千島交換条約 ⑧日朝修好条規 ⑨日清修好条規 ⑩琉球処分 ⑪開拓使
終末	4 本時のまとめ 5 次時の確認	○ 学習した内容を関係図にまとめ、簡単な図の説明を付け加えさせる。 ○ 明治政府の諸改革が人々にどのような影響を与えたのか、次時への見通しを持たせる。	③ 説明 前時までのまとめを参考に一人一人に図を作成させ、説明させることで定着を図る。	⑦関係図（板書） 

展開例

1 2 3 4 5 (時間)

目標

・明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。

	主な学習活動	具体的な教師の働きかけ	活用のポイント	資料	
導入	1 既習事項の想起	○ 前時に作成した年表で確認する。	① 読み取り	①年表（第1時に作成したもの） ②関係図（前時まで作成したもの） ③明治維新を風刺した落首 「上からは明治なんぞと言うけれど、おさまるめい（治明）と下からは誰む。」 ④関係図（第2時） 	
	2 学習課題の確認	○ 政府が矢継ぎ早に行った改革が、人々にどのような影響を与えたのか、課題意識を持たせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">新政府による改革によって日本は明るく治まったのか</div>			
展開	3 課題の追究 (1)新政府が行った諸改革の特色 (2)改革が与えた影響 ・四民平等(残る差別等) ・徴兵令(士族の不満等) ・地租改正(反対一揆等) ・学制(反対の動き等) ・外交(アイヌの生活圧迫等) …など	○ 新政府が行った諸改革について、前時までに作成した関係図(④～⑥)をもとにふりかえる。関連し合っているところには線を加えさせる。 ○ 新政府の改革が与えた影響について、教科書や資料集などから調べさせ、関係図に書き込ませる。(個人→グループ) ○ 新政府による改革によって日本は明るく治まったのか、作成した関係図を基にし、自分の考えを書き、発表させる。	② 解釈  ④ 論述 明治政府側の視点と、国民の視点に立って明治維新を振り返り、その意義・意味について考えたことを伝え合い、深めさせる。	⑦徴兵令 ⑧徴兵免役心得 ⑨徴兵令反対一揆 ⑩地租改正反対一揆 ⑪義務教育の就学率	
	4 本時のまとめ	○ 他の人の考えを聞き、感じたこと、学んだことを振り返らせる。		⑤関係図(第3時) 	
終末	5 次時の確認	○ 明治政府の諸改革により近代国家の基礎が整えられたが、急激な変革は人々に様々な影響を与え、自由民権運動につながっていくことに触れる。		⑥関係図(第4時) 	⑫西南戦争 ⑬板垣退助

【資料5】「武家政治の始まり」（第1学年）の指導展開案

1 本時の指導（1／5時間）

(1) 目標

・武士がどのようにして登場し、力をのばしていったのかを理解することができる。【社会的事象についての知識・理解】

(2) 展開案

	主な学習活動	資料	発問・指示・指導上の留意点	活用	生徒の反応と活用される知識
導入	<p>1 中世についての関心を高め、単元を貫く課題を設定する。</p> <p>(1) 絵画資料から、武士が都で激しい勢力争いを起こしたことを確認する。</p> <p>(2) 略年表で今まで学習してきた奈良・平安時代の事象と、これから学習する事象を比較する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p><b>武士が政治の中心を担うようになったのはなぜだろうか</b></p>	<p>①平治物語絵巻</p> <p>源義朝の軍勢が上皇の御所を放火し襲っている様子の絵</p> <p>②略年表(自作) 8C～15Cまでの政治に関する主なできごと</p>	<p>・どんな様子を表した絵でしょうか。</p> <p>・戦っている人、逃げている人はどんな人たちでしょうか</p> <p>※武士が都で起こした「平治の乱」であることに触れる。</p> <p>・平治の乱前後、政治の中心を担っていたのはどんな人たちだったのでしょうか。</p> <p>※古代については既習事項を、中世については小学校の学習を想起させながら、天皇・貴族中心の政治から武士の中心の政治に変わったことに気付かせる。</p>	<p>読み取り</p> <p>↓</p> <p>解釈</p>	<p>・戦いの絵 ・武士</p> <p>・女の人 ・貴族の屋敷</p> <p>・朝廷が政治を行っている。</p> <p>・天皇中心の政治</p> <p>・摂関政治(藤原氏) 貴族</p> <p>・源頼朝が鎌倉幕府を開く</p> <p>・室町幕府 ・足利義満</p> <p>・天皇、貴族に変わって武士が政治を行うようになった</p>
展開	<p>3 武士のおこりから、平氏が政権につくまでの流れを追究する。</p> <p>(1) どのような人たちが武士となり、武士団として成長していったのか。</p> <p>(2) 武士はどんな活躍をみせ、政治に関わるようになっていったのか。</p> <p>(3) 武士として初めて政治の実権を握ったのは誰か。</p> <p>4 平氏はどのような政治を行ったのか、教科書で確認する。</p>	<p>③粉河寺縁起</p> <p>地方の豪族の屋敷を守る武士の様子の絵</p> <p>④尾張国郡司百姓等解文</p> <p>⑤源氏平氏の系図</p> <p>⑥年表(10C～12Cの戦乱)</p> <p>⑦春日権現記絵巻</p> <p>⑧保元の乱・平治の乱関係図</p> <p>⑨教科書本文</p>	<p>・地方の有力農民の館の様子を表した絵から、どんなことが読み取れますか。</p> <p>※既習の地方政治の乱れについて触れる。</p> <p>※天皇・貴族の子孫との結び付きについて触れる。</p> <p>・武士はどのようにして力をつけていったのか、資料を見てまとめましょう。</p> <p>※年表で戦乱の過程をまとめさせる。</p> <p>※院政との関わりの中で力を伸ばしていったことに気付かせる。</p> <p>・平清盛はどのような政治を行ったのか、資料を見て確認しましょう。</p>	<p>読み取り</p>	<p>・堀がある ・堀がある</p> <p>・弓矢を持った人 ・門番</p> <p>・やぐら ・楯がある</p> <p>・武装している ・武士</p> <p>・地方は国司に任された</p> <p>・平将門の乱 ・藤原純友の乱</p> <p>・前九年の役 ・後三年の役</p> <p>・白河上皇 ・院政 ・荘園</p> <p>・保元の乱 ・平治の乱</p>
終末	<p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 武士が政治の実権を握るようになったのはなぜか、自分の言葉でまとめる。</p> <p>(2) 全体で確認をする。</p> <p><b>地方が乱れる中で、武士はおこり、戦乱を治める中で源氏や平氏らは力をつけた。平清盛は武士初の太政大臣となり、娘を天皇のきさきにするなど栄えた。</b></p> <p>6 なぜ平氏の政権は短期間で終わり、源氏が幕府を開いたのか、課題意識を持つ。</p>	<p>⑩源平合戦図屏風</p> <p>壇ノ浦の戦いの様子の絵</p> <p>⑪年表</p>	<p>・武士が政治の実権を握るようになったのはなぜか、平清盛はどんな政治を行ったのか、自分の言葉でまとめましょう。</p> <p>※キーワードを示して、学習内容をまとめさせる。(武士、源氏、平氏、平清盛)</p> <p>※数人に発表させ、全体で確認する。</p> <p>・平氏の政権はいつまで続いたのでしょうか。</p> <p>※平氏政権が20年足らずで終わったのに対し、鎌倉幕府が約140年間続いたことに着目させる。</p>	<p>説明</p>	<p>・有力な農民の中から武士がおこった。源氏や平氏は戦いで活躍し、貴族や上皇に認められるようになった。平治の乱に勝利した平清盛が武士として初めて太政大臣になった。</p> <p>・1185年に平氏は滅んでいる</p> <p>・鎌倉幕府は1333年まで続いている</p>

2 本時の指導（2 / 5時間）

(1) 目標

・武家政治と古代の天皇や貴族による政治とを比較し、武家政治の特色を主従関係を基に指摘することができる。【社会的な思考・判断】

(2) 展開案

	主な学習活動	資料	発問・指示・指導上の留意点	活用	生徒の反応と活用される知識
導入	<p>1 平氏はなぜ滅んだのか、資料等で確認をする。</p> <p>(1) 前時の学習内容を振り返り、平氏政権への不満に気付く。</p> <p>(2) 源頼朝がどのようにして平氏を倒したのか、資料を使って確認をする。</p> <p>2 学習課題を確認する。  <b>頼朝はどのような政治を行おうとしたのか</b></p>	<p>①源平合戦図屏風</p> <p>壇ノ浦の戦いの様子の絵</p> <p>②平家物語 「平氏にあらずんば人にあらず」</p> <p>③資料集 ・平氏の知行国 ・源平合戦の経緯</p>	<p>・平氏の政治に対して、貴族や武士はなぜ不満をもったのでしょうか                  ※前時の内容を振り返らせる。                  ※知行国について簡単に説明する。</p> <p>・平氏と源氏の戦いの様子を資料で確認しましょう。                  ※源平の争乱について、資料をもとにワークシートにまとめさせる。                  ※奥州藤原氏と源義経について簡単に説明する。</p>	<p>解説</p> <p>読み取り</p>	<p>・藤原氏みたいな政治</p> <p>・全国の半分以上を支配</p> <p>・おごっている</p> <p>・収入（土地）が減る</p> <p>・源頼朝</p> <p>・源義経</p> <p>・壇ノ浦</p> <p>・奥州藤原氏</p>
展開	<p>3 鎌倉幕府のしくみを資料から調べる。</p> <p>(1) 鎌倉に留まった頼朝は、その後、どのようなしくみを整えていったのか資料で確認する。</p> <p>(2) 武士達はなぜ頼朝に従ったのか、御恩と奉公の関係から考える。</p> <p>(3) 頼朝がつくった幕府は、天皇や貴族、平氏の政治とどんなところが違うのかをまとめる。</p>	<p>④年表(1180-1192)</p> <p>⑤鎌倉幕府の組織 鎌倉幕府のしくみを表した図</p> <p>⑥封建制度(図)</p>	<p>・戦いに勝利した頼朝は、どんなしくみを整えていったのでしょうか。                  ※全国に守護・地頭を置くことを朝廷に認めさせたことを確認する。                  ※幕府のしくみとおもな内容を組織図で確認する。                  ※将軍と御家人が御恩と奉公の関係で成り立っていることを確認する。</p> <p>・鎌倉幕府は、これまでの政治とどんなところが違うのでしょうか。                  ※組織図等を比較させ、朝廷に比べ簡素で実務的なものであること、天皇（朝廷）との結び付きが弱いことに気付かせる。</p>	<p>読み取り</p> <p>解説</p>	<p>・鎌倉で政権づくり</p> <p>・守護、地頭の設置</p> <p>・執権、侍所、政所、問注所</p> <p>・土地、役職を与える</p> <p>・いざ鎌倉</p> <p>・京都・鎌倉の警備</p> <p>・御恩と奉公</p> <p>・朝廷のしくみは複雑だけど幕府のしくみは簡単</p> <p>・藤原氏は摂政関白、清盛は太政大臣（朝廷の役人）</p> <p>・頼朝は朝廷とは別の組織</p>
終末	<p>4 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 頼朝はどのような政治を行おうとしたのか、自分の言葉でまとめる。</p> <p>(2) 全体で確認をする。  <b>鎌倉幕府は将軍と御家人との間で土地を仲立ちとした「御恩」と「奉公」の関係で成り立っていた。</b></p> <p>5 源氏が三代で絶えること、その後、朝廷と幕府の関係が悪化し、承久の乱が起こることを確認しする。</p>	<p>⑦教科書</p>	<p>・頼朝がつくった幕府は、これまでの政治とはどんなところが違っていたでしょうか。自分の言葉でまとめましょう。                  ※キーワードを示して、まとめさせる。（将軍、御家人、御恩、奉公、土地）                  ※数人に発表させ、全体で確認する。                  ※北条氏も平氏であることに触れる。</p> <p>・御家人達は朝廷と幕府のどちらに味方するのだろうか。                  ※将軍に京都から貴族（2歳）を迎えたこと、幕府の実権は執権の北条氏が握ったことに触れる。</p>	<p>説明</p>	<p>・それまでの貴族とは全く違う新しい政治を始めた。鎌倉幕府は将軍と御家人が、御恩と奉公の関係で結びついていた。</p> <p>・どちらが勝ったのだろう</p> <p>・幕府が続いているから幕府ではないか</p>

3 本時の指導（3／5時間）

(1) 目標

・主従の結び付きや武力を背景にして、幕府が支配を広げていったことを指摘することができる。【社会的事象についての知識・理解】

(2) 展開案

	主な学習活動	資料	発問・指示・指導上の留意点	活用	生徒の反応と活用される知識
導入	<p>1 鎌倉幕府が成立してから承久の乱までの経過を確認する。</p> <p>(1) 頼朝の死後、幕府内の勢力争いが続き、北条氏が力をつけたことを確認する。</p> <p>(2) 後鳥羽上皇が皇族将軍を拒否し、挙兵したことを確認する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p><b>承久の乱～どちらに味方すべきか～</b></p>	<p>① 源氏と北条氏の系図</p> <p>② 後鳥羽上皇像</p> <p>③ 北条政子像</p> <p>④ 北条義時追討令</p> <p>⑤ 当時の幕府・朝廷の支配地</p> <p>承久の乱前の幕府側、朝廷側の勢力範囲を示した地図</p>	<p>・源氏の将軍が絶えた後、朝廷はどのような動きを起こしたのでしょうか</p> <p>※頼朝、頼家、実朝の死について触れる。 ※北条氏が力を伸ばしたことに触れる。</p> <p>・後鳥羽上皇の命令に対し、御家人はどんな行動を示したのでしょうか。</p> <p>※諸国から京に集められた1700人の武士のほとんどが上皇側につき、院宣が出されたことに触れる。</p>	<p>解説</p> <p>読み取り</p>	<p>・将軍がいなくなった。幼い</p> <p>・北条氏が執権政治を行っている。</p> <p>・上皇の命令に従った</p> <p>・幕府は土地を守ってくれる</p> <p>・朝廷の権力は大きいのでは</p> <p>・御家人は東日本のみ</p>
展開	<p>3 当時の御家人の立場として、上皇の命令への対応を考える。</p> <p>(1) 朝廷方・幕府方・迷っているのどれかを選択し、理由をまとめる。</p> <p>(2) グループで交流し、交流後の立場を明らかにする。</p> <p>4 北条政子の訴えを確認し、最終的な立場を考える。</p> <p>(1) 朝廷方・幕府方・迷っているのどれかを選択し、理由をまとめる。</p> <p>(2) 全体で意見を交流する。</p> <p>5 承久の乱の結果から、朝廷に対して幕府が優位に立つことを確認する。</p>	<p>⑥ 資料集（公武二元支配の状況）</p> <p>⑦ 北条父子の会話</p> <p>⑧ 北条政子の演説</p> <p>⑨ 鎌倉幕府の組織（六波羅探題）</p> <p>⑩ 承久の乱後の幕府の勢力範囲</p> <p>⑪ 御成敗式目</p>	<p>・あなたが御家人ならば、どちらの味方につくか、考えてみましょう。</p> <p>※資料から朝廷のねらい、権威の大きさに気付かせる。</p> <p>・グループで意見交流し、再度自分の考えをまとめてみましょう。</p> <p>※立場を変えても良いことを伝える。 ※政子の訴えを読み、再度立場を決める。</p> <p>・どちらの立場に立つか、全体で意見交流をしましょう。</p> <p>※根拠（理由）を基に意見を言わせる。 ※立場が変わった生徒に理由を言わせる。</p> <p>・実際の結果はどうなったのか、資料で確認しましょう。</p> <p>※西国に勢力を伸ばしたことを確認する。</p>	<p>読み取り</p> <p>解説</p> <p>説明</p> <p>読み取り</p> <p>解説</p>	<p>・上皇に味方する御家人は多いのではないか。</p> <p>・上皇も褒美をくれる。</p> <p>・朝廷とは戦えない。</p> <p>・北条氏も上皇を殺せない。</p> <p>・頼朝が御家人に土地を与えてくれた。</p> <p>・頼朝の御恩に奉公する。</p> <p>・上皇は倒せないが、味方した武士なら倒せる。</p> <p>・西日本にも勢力を広げた</p> <p>・後鳥羽上皇を隠岐に流す</p> <p>・六波羅探題</p> <p>・御成敗式目</p>
終末	<p>6 なぜ多くの御家人が幕府に味方したのか、承久の乱はどんな影響を与えたのかをまとめる。</p> <p><b>御恩と奉公の関係が強く結ばれており、多くの御家人が幕府側にたった。乱に勝利した幕府は、西国への勢力を伸ばし、六波羅探題を設置し朝廷の監視を強めた。北条氏による執権政治が発展した。</b></p> <p>7 鎌倉時代の武士と庶民は、どんな願いで暮らしていたのか、次時への課題意識を持つ。</p>	<p>⑫ 教科書</p>	<p>・多くの御家人が幕府方についたのはなぜか（勝因）、乱の結果は幕府、朝廷にどんな影響を与えたのか、自分の言葉でまとめてみましょう。</p> <p>※キーワードを示して、まとめさせる。（御家人、御恩、奉公、六波羅探題） ※数人に発表させ、全体で確認する。</p> <p>・鎌倉時代の武士や民衆はどんな願いをもち、暮らしていたのだろうか。</p> <p>※御恩と奉公の関係、二重支配の状況から考えさせ、次時につなげる。</p>	<p>説明</p>	<p>・御家人は御恩と奉公の関係を大切に考えていたので、幕府に味方した。乱に勝利した幕府は、全国に支配を広げ、朝廷の力は弱まった。</p> <p>・御恩にいつでも応えられるように準備する。</p> <p>・朝廷にも幕府にも税を取られる。</p> <p>・戦のない平和な時代</p>

4 本時の指導（4 / 5時間）

(1) 目標

- ・武士と民衆の生活の様子について、資料を読み取り、まとめることができる。【資料活用の技能・表現】

(2) 展開案

	主な学習活動	資料	発問・指示・指導上の留意点	活用	生徒の反応と活用される知識
導入	<p>1 鎌倉時代の武士や民衆はどんな暮らしをしていたのかを考える。</p> <p>(1) 絵画資料から読み取れる武士と民衆の様子などをまとめる。</p> <p>(2) なぜそのような特徴がみられるか予想する。</p> <p>2 学習課題を確認する。 <b>鎌倉時代の人々はどんな生活をしてきたのか</b></p>	<p>①一遍上人絵伝</p> <p>備前国福岡の市の様子 の絵</p>	<p>・どんな様子を表した絵でしょうか。</p> <p>・わかったこと、気付いたこと、考えたことをあげてみましょう</p> <p>※備前国（岡山県）の福岡の市の様子であることに触れる。</p> <p>・どうしてこのような様子がみられるようになったのでしょうか。</p> <p>※産業が発展している様子に気付かせる。</p>	読み取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見張りの武士がいる</li> <li>・いろいろな物を売っている</li> <li>・船でものを運んでいる</li> <li>・米、魚、かめ、面、布</li> <li>・いろいろなものがたくさんつくられるようになった</li> <li>・産業が発達した</li> </ul>
展開	<p>3 鎌倉時代の武士は、どのような生活をしてきたのか、資料から読み取ってきましょう。</p> <p>(1) 武士の館の様子を読み取り、特徴をまとめる。</p> <p>(2) 武芸の様子を読み取り、特徴をまとめる。</p> <p>(3) 資料から「いざ鎌倉」について考える。</p> <p>(4) 3つの資料からわかる武士の生活についてまとめる。</p> <p>4 鎌倉時代の農民は、どのような生活をしてきたのか確認する。</p> <p>(1) 資料から武士と領主、農民の関係を確認する。</p> <p>(2) 資料から村のまとまりと農業技術の進歩について確認する。</p>	<p>②一遍上人絵伝</p> <p>武士の館の様子 の絵</p> <p>③男衾三郎絵詞</p> <p>笠懸の様子 の絵</p> <p>④鉢木の話</p> <p>⑤阿氏河莊民訴状</p> <p>⑥大山寺縁起絵巻</p> <p>牛馬を用いた田植 えの様子 の絵</p> <p>⑦石山寺縁起絵巻</p>	<p>・武士はどのような生活をしてきたのか、資料をよみとり、まとめてみましょう。</p> <p>※それぞれの資料から読み取れることをまとめさせる。</p> <p>※3つの資料からわかったことをまとめると、どんなことが言えるのか考える。</p> <p>※武士が大切にしていたものは何か気付かせる。</p> <p>・農民はどのような生活をしてきたのか、資料を見てまとめましょう。</p> <p>※地頭と領主の二重支配の様子と、地頭の土地支配が強まったことを確認する。</p> <p>※村のまとまりが生まれたことについても触れる。</p> <p>※農業技術が進歩し、生産が高まったことから市が開かれたことに気付かせる。</p>	読み取り ↓ 解釈	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塀がある</li> <li>・堀がある</li> <li>・弓矢を持った人</li> <li>・門番</li> <li>・やぐら</li> <li>・楯</li> <li>・馬</li> <li>・猿</li> <li>・犬</li> <li>・鷹</li> <li>・宴会している</li> <li>・弓矢の訓練</li> <li>・奉公しようとしている</li> <li>・日頃から戦いに備え、武芸にはげんでいる。</li> <li>・地頭は乱暴、ひどい</li> <li>・農民が領主に訴えている</li> <li>・水車、牛を使って耕す</li> <li>・協力して田植え</li> <li>・太鼓をならしている</li> <li>・協力している</li> <li>・農業が発達した。</li> </ul>
終末	<p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 武士や農民はどのような暮らしをしていたのか、自分の言葉でまとめる。</p> <p>(2) 全体で確認をする。</p> <p><b>武士は土地を守り、奉公できるよう、日頃から武芸の訓練をしていた。農民は地頭と領主の二重の支配を受けていたが、村のまとまりが生まれていった。</b></p> <p>6 御恩と奉公がくずれたことを確認し、課題意識を持つ。</p>	<p>⑧悪党</p>	<p>・鎌倉時代の人々はどんな生活をしてきたのか、自分の言葉でまとめてみましょう。</p> <p>※キーワードを示して、学習内容をまとめさせる。（武士、農民、二重）</p> <p>・幕府に従わない武士がでてきたのはなぜなんだろう。</p> <p>※悪党について触れ、幕府に従わない武士がなぜ出たのか、課題意識を持たせる。</p>	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士は自分の土地を守り、いつでも奉公できるように武芸の訓練をしていた。農民は武士と領主の二重の支配を受けていたが、団結して訴えたり、協力して農作業をして力をつけていった。</li> <li>・御恩と奉公の関係は？</li> <li>・元との戦いがあった</li> </ul>

5 本時の指導（5 / 5 時間）

(1) 目標

・鎌倉幕府が滅亡した理由を、元寇の影響や政治、社会の変化から指摘することができる。【社会的事象についての知識・理解】

(2) 展開案

	主な学習活動	資料	発問・指示・指導上の留意点	活用	生徒の反応と活用される知識
導入	<p>1 元寇について小学校での既習事項を確認する。</p> <p>(1) 絵画資料から読み取れる様子をまとめる。</p> <p>(2) 小学校での既習事項を想起する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p><b>元寇は日本にどんな影響を与えたのか</b></p>	<p>①蒙古襲来絵詞</p> <p>恩賞を求める竹崎季長の絵</p>	<p>・どんな様子を表した絵でしょうか。</p> <p>・わかったこと、気付いたこと、考えたことをあげてみましょう</p> <p>※元寇（文永の役）での御家人（竹崎季長）の様子であることを説明する。</p> <p>・元寇は日本にどんな影響を与えたのでしょうか。</p> <p>※御家人、幕府はどうなっていくか予想させる。</p>	読み取り	<p>・モンゴル人との戦い</p> <p>・元との戦い ・北条時宗</p> <p>・火薬（てつほう）</p> <p>・集団戦法 ・一騎打ち</p> <p>・暴風雨</p> <p>・ほうびがもらえなかった</p> <p>・ほうびがなく不満</p> <p>・幕府は滅んだ</p>
展開	<p>3 元寇の様子を、資料から読み取ってみましょう。</p> <p>(1) モンゴル帝国と元の様子を資料で確認する。</p> <p>(2) 元寇はどのような戦いであったか、資料で確認する。</p> <p>(3) 元を退けることができた理由を資料から読み取る。</p> <p>4 元寇後、幕府や御家人にはどんな動きがおきたのか、資料から読み取ってみましょう</p> <p>(1) 幕府の動きと、御家人の動きについて、それぞれ資料から確認する。</p> <p>(2) 資料から読み取ったことをまとめ、発表する。</p>	<p>②13世紀頃のユーラシア(地図)</p> <p>③チンギス・ハン</p> <p>④フビライ・ハン</p> <p>⑤蒙古国牒状</p> <p>⑥北条時宗</p> <p>⑦元軍の進路</p> <p>⑧元寇防塁跡</p> <p>⑨東アジアの年表</p> <p>⑩元軍の構成</p> <p>⑪蒙古襲来絵詞</p> <p>元軍と戦う竹崎季長の絵</p> <p>⑫北条氏の勢力</p> <p>⑬永仁の徳政令</p> <p>⑭悪党</p>	<p>・元寇はどんな戦いであったのか、資料をよみとり、まとめてみましょう。</p> <p>※モンゴル帝国（チンギスハン）と元（フビライハン）について確認する。</p> <p>※二度の戦いについて図等で確認させる。</p> <p>※元を退けた理由を、暴風雨だけでなく、国内、海外の動き等、多面的にとらえさせる。</p> <p>・元寇は日本にどんな影響を与えたのか、資料を読み取り、まとめましょう。</p> <p>※北条氏の守護が増えたこと、西国への権限が強まったことに気付かせる。</p> <p>※新恩給与がないこと、分割相続により経済基盤が弱まったことに気付かせる。</p> <p>※徳政令は何をねらいとしていたのか考えさせる。</p>	読み取り 説明	<p>・モンゴル帝国を築いた</p> <p>・宋を滅ぼし元とした。</p> <p>・文永の役と弘安の役</p> <p>・御家人が守りを固めた。</p> <p>・元の支配に対し各地で反乱がおこっている。</p> <p>・元軍には宋、高麗人が多い</p> <p>・北条氏が守護の国が増えた</p> <p>・竹崎末長は2ヶ月ねばってほうびをもらった。</p> <p>・恩賞が十分ではなかった</p> <p>・分割相続で土地は狭い</p> <p>・借金をする御家人もいた</p> <p>・土地をただで返した</p> <p>・借金ができなくなった</p> <p>・苦しさは変わらない。</p>
終末	<p>5 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 鎌倉幕府の力がおとろえたのはなぜか、複数の視点から自分の考えをまとめる。</p> <p>(2) 何人かに発表させる。</p> <p><b>元寇では恩賞が不十分であった。御家人の生活は苦しくなっていたため、幕府は徳政令を出したが、効果はなかった。幕府に対する不満が強まり、御恩と奉公の関係は崩れた。</b></p>	<p>⑮教科書</p> <p>⑯学習プリント</p>	<p>・鎌倉幕府の力がおとろえたのはなぜか、複数の視点から、自分の言葉でまとめてみましょう。</p> <p>※元寇だけではなく、さまざまな視点から理由を考えさせる。</p> <p>※鎌倉幕府を支えたのものは何か、源平の戦い、承久の乱、元寇に共通する御恩と奉公の関係を想起させる。</p> <p>※この後、政治は誰がどのように行っていくのか、次の単元への課題意識を持たせる。</p>	論述	<p>・元寇では新たな土地を得ることができず、恩賞が不十分であった。</p> <p>・元寇をきっかけに御恩と奉公の関係がくずれ、御家人は幕府への不満を強めた。</p> <p>・土地がせまくなり、御家人の生活は苦しくなった。</p> <p>・徳政令は御家人の信用を失い、改善されなかった。</p> <p>・悪党が出現した。</p>

【資料6】「暮らしを支える経済」（第3学年）の指導展開案

1 本時の指導（1／5時間）

(1) 目標

- ・シミュレーション活動に意欲的に取り組み、経済への関心を持つことができる。【社会的事象への関心・意欲・態度】
- ・身近な体験をとおして経済の基本的な考え方を理解できる。【社会的事象についての知識・理解】

(2) 展開案

	主な学習活動	資料・関連事項	発問・指示・指導上の留意点	活用	生徒の反応と活用される知識
導入	<p>1 単元の見通しと、学習の進め方について確認する。</p> <p>(1) 経済の三主体を中心に学習していくことを確認する。</p> <p>(2) 牛井屋経営シミュレーションを行い、経済の基本的な見方や考え方を学ぶことを確認する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p><b>牛井屋の経営をとおして経済について考えよう</b></p>	<p>① 経済の三主体の図（教科書）</p> <p>② 牛井屋シミュレーション（学習プリント）</p>	<p>・経済と聞いて、イメージするのはどんなことですか？</p> <p>※経済についてのイメージを自由に出させる。家計、企業、政府が関連し合って活動していることにふれる。</p> <p>・牛井屋の経営をとおして経済とは何か、考えてみよう。</p> <p>※単元の見通しと、シミュレーションの概略を説明する。</p>		<p>・お金 ・景気</p> <p>・銀行</p>
展開	<p>3 牛井屋の開業準備</p> <p>(1) 開店資金の調達方法について確認する。</p> <p>(2) 材料費、光熱費、借室料等について確認する。</p> <p>4 1年目の意志決定</p> <p>(1) 個人で価格設定、アルバイトの有無、環境対策について、大よその見当で仮決定する。</p> <p>(2) 個人の仮決定をもとにして、グループで1年目の意志決定を根拠を持って行う。</p> <p>(3) グループで決定した内容を、理由とともに発表する。</p> <p>5 年間利益予想額を計算する。</p> <p>6 予期せぬ出来事</p> <p>(1) 出来事カードを2枚引く</p> <p>(2) 出来事カードによる売り上げと利益の増減を確認する。</p> <p>7 年間利益を計算し、発表する。</p> <p>8 次時は1年目の振り返りと2年目を行うことを確認する。</p>	<p>③ 間接金融、利子</p> <p>④ 生産要素</p> <p>⑤ 需要と供給</p> <p>⑥ 雇用と労働条件</p> <p>⑦ 企業の社会的責任</p> <p>⑧ 景気変動</p> <p>⑨ 財政</p> <p>⑩ 自由競争</p>	<p>※生徒をグループ（班）に分ける</p> <p>※初期投資、金融、利子について簡単に説明する。</p> <p>・牛井をつくるために必要なものはなんでしょう。</p> <p>※生産要素は何かについて考えさせる</p> <p>・価格、アルバイト、環境対策それぞれどうするのか決めましょう。</p> <p>※価格→高い：販売食数は少ないが、一杯の利益は多い。</p> <p>低い：販売食数は多いが、一杯の利益は少ない。</p> <p>※アルバイト：人件費はかかるが販売食数は増える。（休むリスク）</p> <p>※環境対応：評判が良くなり、販売食数が増える可能性。政府の補助を受ける可能性。</p> <p>・出来事カードを2枚引いて、売り上げと利益の増減を確認しましょう。</p> <p>※カードは</p> <p>① 景気が良くなったよ</p> <p>② 中価格ライバル店が出現</p> <p>③ アルバイトがやめちゃった</p> <p>④ 環境世論が高まっています</p> <p>・年間利益を発表しよう</p> <p>※計算は時間がかからないよう、早見表を用意しておく。</p>	<p>読み取り</p>	<p>・お金 ・店 ・家賃</p> <p>・牛肉 ・玉ねぎ</p> <p>・電気 ・ガス ・店員</p> <p>・高い方がもうかる</p> <p>・安くてもたくさん売れば</p> <p>・アルバイトはお金がかかる</p> <p>・人手があればたくさん売れる</p> <p>・環境対策はもうけがない</p> <p>・環境は大事</p> <p>・景気が良くなった</p> <p>・ライバル店が出た</p> <p>・環境対策に補助金が出るのか</p> <p>・+〇〇円だ</p> <p>・-〇〇円だ</p>

2 本時の指導（2 / 5時間）

(1) 目標

- ・シミュレーション活動に意欲的に取り組み、経済への関心を持つことができる。【社会的事象への関心・意欲・態度】
- ・身近な体験をとおして経済の基本的な考え方を理解できる。【社会的事象についての知識・理解】

(2) 展開案

	主な学習活動	資料・関連	発問・指示・指導上の留意点	活用	生徒の反応と活用される知識
展 開	1 前時の流れを確認する。				
	2 1年目をグループで振り返る (1) 1年目の予想利益と実際の利益を比較し、増減とその理由を確認する。 (2) 他と比べてどうであったか、その原因を確認する。 (3) お店の経営にはどのようなことが大切なのかを考える。	①機会費用 ②トレードオフ ③選択 ④合理的な意思決定	<p>・1年目の経営を振り返ってみましょう</p> <p>※くじ運だけではなく、出来事の予測や経営方針に原因はなかったのかなどを考えさせる。 ※意思決定時の選択で、得たものと失ったものを確認させる ※トレードオフ、機会費用などの経済的な見方、考え方についてふれる。</p>	解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードが悪かった</li> <li>・景気が良いと高い価格が利益が大きい</li> <li>・アルバイトを雇えば安くてもたくさん売れた</li> <li>・環境への配慮も大切だ</li> <li>・どちらを選択するか、いろいろ考えなければならない</li> </ul>
	3 2年目の意志決定 (1) グループでの振り返りをもとに、価格、アルバイト、環境について再度、意志決定を行う。 (2) 意志決定の根拠とともに発表する。	⑤需要と供給 ⑥雇用と労働条件 ⑦企業の社会的責任	<p>・1年目の振り返りをもとに、経営の基本方針を変更してみましょう。</p> <p>※予想される年間利益はいくらになるか、確認させる。 ※1年目の振り返りが反映されているか、出来事を想定した変更か確認する。 ・価格→ライバル店出現のリスク ・アルバイト→病気等のリスク ・環境対策→評判による売り上げ増など ※変えない選択もあることに触れる。</p>	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低価格、アルバイト無しだと景気一番左右されない</li> <li>・価格が高いと、アルバイトがやめた時でもなんとかなる</li> <li>・価格を安くしておけば、競争できる</li> <li>・一番利益が出るのはどれかは、状況による</li> </ul>
	4 予期せぬ出来事 (1) 出来事カードを2枚引く。 (2) 出来事カードによる売り上げと利益の増減を確認する。	⑧景気変動 ⑨財政 ⑩自由競争	<p>・出来事カードを2枚引いて、売り上げと利益の増減を確認しましょう。</p> <p>※計算は時間がかからないよう、早見表を用意する。2年目は元利返済がない。 ※1年目と2年目の利益の合計を確定する</p>		
	5 2年間の利益を計算し、発表する。				
	6 2年間の牛井屋経営を振り返る (1) 1年目と2年目の結果をもとに、自分たちの意志決定について振り返る。 (2) 各グループごとに、1年目と2年目の結果と考察について発表する。 (3) 経営にはどのようなことが大切なのか考える。		<p>・2年間の牛井屋経営を振り返ってみましょう</p> <p>※どんな選択を、どんな理由でしたか確認させる。その選択は合理的であったか、考えさせる。 ※経営にはどんなことが大切なのか、売り上げを伸ばしていくためにはどのような方法があるか、考えさせる。</p>	論述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気が良くなったので、やはり価格は安くなくて良かった。</li> <li>・環境対策は大切だった</li> <li>・いろいろな状況を予想して、一番利益が上がるのは何か判断して選択しなければならない。</li> </ul>
	7 次時はシミュレーションで経験したことを広く振り返ることを確認する。		<p>※シミュレーションを通してふれた、経済のしくみや考え方について、次時で一般化を図ることとする。</p>		

3 本時の指導（3／5時間）

(1) 目標

・身近な体験をとおして経済の基本的な見方・考え方を理解できる。【社会的事象についての知識・理解】

(2) 展開案

	主な学習活動	資料・関連	発問・指示・指導上の留意点	活用	生徒の反応と活用される知識
終末	<p>1 牛井屋経営シミュレーションで経験した経済の基本的なしくみや考え方について振り返る。 (個人作業→一斉→整理)</p> <p>(1) 牛井屋の開業準備 ① お店を開くためには何が必要になるかをまとめる。 ② 銀行とはどのような働きをしているかをまとめる。</p> <p>(2) 意思決定(経営方針) ① 価格を高くすると失う(あきらめる)ものは何か、逆に安くすると失う(あきらめる)ものは何かをまとめる。 ② 販売食数や利益が変わる原因は何かをまとめる。 ③ 価格を決めるのに重要なことは何かをまとめる。</p> <p>(3) 企業には利益をあげることを以外にどんな役割があるのかをまとめる。 (4) 政府はどんな経済活動を行っていたかをまとめる。 (5) 私たちが将来社会に出て働く時の条件として気になることはどんなことでしょうか。</p> <p>2 牛井屋シミュレーションを行ってわかったこと、気付いたこと、感想等をまとめる。</p> <p>3 次時の予告 商品の価格の決まり方、市場経済について学習することを確認する。</p>	<p>(教科書等での主な内容)</p> <p>○企業 ○家計 ○財・サービス ○資本 ○間接金融 ○直接金融</p> <p>○限られた資源 ○選択 ○機会費用</p> <p>○市場経済 ○需要と供給 ○競争 ○利潤</p> <p>○企業の社会的責任</p> <p>○政府 ○経済の三主体</p> <p>○労働条件 ○雇用の問題</p>	<p>・シミュレーションをとおして学んだ経済のしくみや考え方について、振り返ってみましょう ※活動を振り返りながら、経済の基本的なしくみや考え方をまとめていくことを確認する。</p> <p>・牛井屋開業のために必要なものは何だったでしょうか。 ※家計と企業の関連に着目しながら、商品の生産が企業中心に行われていることを確認する。また金融の働きについて大きくつかませる。</p> <p>・価格の設定は、どのような影響を与えたでしょうか。 ※選択を行うにあたっては、あるものを多く生産・消費するときには、他のものを少なく生産・消費しなければならないことに気づかせる。 ※価格は需要と供給の関係によってきまることを大まかにつかませる。</p> <p>・企業は利益をあげることを以外に、どんなことに取り組んでいるのでしょうか ※公共の利益に配慮する社会的責任があることについて考えさせる。</p> <p>・政府は企業や家計とどんな関わりを持っているのでしょうか。 ※家計、企業、政府の関係をつかませる。</p> <p>・将来社会に出て働く時の条件として気になることはどんなことでしょうか。 ※利益をあげることを追究したらどうなるか、景気がどんな影響をあたえるのかを考えさせる。</p> <p>・牛井屋シミュレーションをとおしてわかったこと、気付いたこと、感想等をまとめましょう。 ※今後さらに詳しく知りたいことなど、課題意識を持たせる。</p>	<p>説明</p>	<p>・生産要素をそろえる資本が必要 ・銀行は利子をつけて資金を貸している</p> <p>・価格を高くすれば利益があがるとは限らない。景気が悪いときは安い方が影響が少ない。 ・価格が安ければ販売数は多くなる。価格が高ければ販売数は少なくなる。買う方は安い方を買う。</p> <p>・環境対策をしている。</p> <p>・環境への補助 ・家計や企業が納める税金で、いろいろなことを行っている。</p> <p>・アルバイトは景気が悪くなると雇わない。景気が良くなって欲しい。 ・給料が高い方が良いが、企業は安く抑えたい</p>

4 本時の指導（4 / 5時間）

(1) 目標

・市場経済のもとでは、商品の価格は需要と供給の関係によって決まることを説明することができる。【資料活用の技能・表現】

(2) 展開案

	主な学習活動	資料	発問・指示・指導上の留意点	活用	生徒の反応と活用される知識
導入	<p>1 商品の価格がどのようにして決まるのか、価格についての関心を高める。</p> <p>(1) 身近な商品を提示し、価格を予想させる。</p> <p>(2) 価格がどのようにして決まるのかシミュレーションを通して学習することを確認する。</p> <p>2 学習課題を確認する。  <b>商品の価格がどのようにして決まるのだろうか。</b></p>	①旅行会社のパンフレット	<p>・ディズニーランド周辺のホテルの宿泊料はいくらでしょうか？</p> <p>※同じ商品であっても、時期によって価格が異なっていることを確認する。          ※なぜ価格が異なるのか、考えたことを何人かに発表させる。</p> <p>・商品の価格はどのようにして決まっているのか、ゲームを通して考えてみよう。          ※牛井の仮想売買シミュレーションを通して、価格の決めり方を考えることを確認する。</p>	読み取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日は安い</li> <li>平日よりも休日や、休日前が高くなっている。</li> <li>休みを利用して旅行しやすい時期が高くなっている。</li> <li>泊まりたい人が多い時は高く、少ないときは安い。</li> <li>おもしろそう。</li> <li>面倒だなあ</li> </ul>
展開	<p>3 牛井売買ゲームの進め方をプリントで確認する。</p> <p>4 牛井売買ゲームを開始する。</p> <p>(1) 1回目（5分間）を行う。</p> <p>(2) 1回目の交渉結果に着目する。</p> <p>(3) 2回目を行う。（5分）</p> <p>(4) 3回目を行う。（5分）終了後利益を計算し、全体で確認する。</p> <p>5 ゲームを振り返り、売り手と買い手の関係と、価格がどのように決まったのかを全体で確認する。</p> <p>6 市場価格と需要と供給の関係、均衡価格について確認する。</p>	<p>②牛井売買ゲーム</p> <p>③取引カード</p> <p>④ワークシート</p> <p>⑤記録（板書）</p> <p>⑥需給曲線（カードの関係）</p> <p>⑦需給曲線（教科書）</p>	<p>※生徒を売り手と買い手に分ける。          ※売り手は配布されたカードの金額以下で買い手はカードの金額以上で取引する。          ※条件とかなう交渉相手を探す。交渉が成立したら報告し、カードの交換を行う。</p> <p>・牛井売買ゲームを開始しましょう。</p> <p>※ワークシートに交渉結果を記入する。          ※個々の利益の最大化を目指す。          ※厳しいカードの場合は無理をせず、償却してもよいこととする。</p> <p>・ゲームを振り返ってみましょう。</p> <p>※売り手と買い手の関係を確認する。          ※一番多い取引価格を確認する。</p> <p>・価格はどのようにして決まるのでしょうか？</p> <p>※需要と供給の関係で価格は決まっていること、均衡価格について説明する。</p>	読み取り 解釈	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇〇円で売って</li> <li>〇〇円で買って</li> <li>〇〇円のところが多いぞ</li> <li>〇〇円でも買っている（売っている）のかあ</li> <li>〇〇円の取引回数が多い。</li> <li>やるうちに利益が安定した</li> <li>売り手と買い手の量が一致する価格が多くなる。</li> <li>需要量と供給量が一致する価格を均衡価格という。</li> </ul>
終末	<p>7 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 需要と供給の関係をつかい、身近な商品の価格の変化を説明する。</p> <p>8 次時の課題意識を持つ。</p> <p>(1) ゲームを振り返って、もし売り手が少なかった場合、どんな結果が起ころのか考える。</p> <p>(2) 売り手のカードがすべて同じ条件であればどんなことが起ころのか考えさせる。</p>	<p>⑧きゅうりの入荷量と価格の変化</p> <p>⑨旅行会社のパンフレット</p> <p>⑩需給曲線（カードの関係）</p>	<p>・身近な商品の価格の変化について、説明してみましょう。</p> <p>※需要が一定だとすると、なぜきゅうりの価格はこのような変化を見せるのか、均衡価格の考え方を転移して説明させる。          ※数人に発表させ、全体で確認する。</p> <p>・市場は万能なのでしょうか。うまくいかない場合はどんな時でしょうか？</p> <p>※売り手がすべて高価格の設定の時、売り手が極端に少ない時などを考えさせる。</p>	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>きゅうりの入荷（供給）量が多い夏は価格が低くなっている。入荷量が少ない冬は価格が高くなる。</li> <li>旅行者（需要）が多くなる休み前はホテル代は高くなり、旅行者（需要）が少ない平日は価格が安い。</li> <li>価格は高くなる。</li> <li>取引できなくなる。</li> </ul>

5 本時の指導（5 / 5 時間）

(1) 目標

- ・市場における競争が消費者にもたらす影響を考えることができる。【社会的な思考・判断】
- ・市場の限界と政府が果たす役割について理解することができる。【社会的事象についての知識・理解】

(2) 展開案

	主な学習活動	資料	発問・指示・指導上の留意点	活用	生徒の反応と活用される知識
導入	<p>1 牛井売買ゲームを行う。</p> <p>(1) 前時行った牛井売買ゲームについて確認し、1 回行う。</p> <p>(2) 条件を制限すると、均衡価格にならないことを確認する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p><b>市場がうまく働かない場合はどうしたらよいのでしょうか</b></p>	①牛井売買ゲーム	<p>・牛井売買ゲームPart2 を行いましょう</p> <p>※前時と同じ要領で牛井売買ゲームを行うことを確認する。</p> <p>※売り手側には同一価格で必ず取引するよう指示し、ゲームの結果を確認する。</p> <p>・どうしてこのような結果（高価格、取引数量減）になったのでしょうか。</p> <p>※市場には限界があることに気付かせる。</p>	読み取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売り手が少ない</li> <li>・価格がみんな一緒だ</li> <li>・買い手が損をしている</li> <li>・売り手が話し合っ決めて</li> <li>・売り手は競争していない</li> <li>・ずるい</li> <li>・売り手はみんなて約束を守ればたくさん儲かる</li> </ul>
展開	<p>3 市場がうまく働かない場合にはどんな時があるか考える。</p> <p>(1) 売り手が少ない商品はないか考える。</p> <p>(2) 価格があまり変化しない商品はないか考える。</p> <p>(3) 寡占と独占を確認し、消費者への影響を考える。</p> <p>4 市場での公正な取引、自由競争を守るためのしくみを確認する。</p> <p>(1) 独占禁止法と公正取引委員会について確認する。</p> <p>(2) 市場で制限されている取引方法等について確認する。</p> <p>5 市場の動きにまかせられないものについて、政府が管理していることを確認する。</p>	<p>②市場の占有率</p> <p>③ビール等の価格の変化</p> <p>④教科書本文（独占・寡占）</p> <p>⑤通話料の変化</p> <p>⑥独占禁止法</p> <p>⑦公正取引委員会</p> <p>⑧私的独占、カルテル、不当表示の事例</p> <p>⑨カリフォルニアの大停電</p> <p>⑩公共料金</p> <p>⑪汚染者負担の原則</p>	<p>・売り手が少ない商品、価格が変わらない商品にはどんなものがあるのでしょうか</p> <p>※時間、季節によって価格が変化しない商品や、少数企業による市場占有率が高い商品の例を示し、考えさせる。</p> <p>・市場における競争がなくなると、どんな問題がおこるのでしょうか</p> <p>※規制緩和による価格競争の例を示す。</p> <p>・自由な競争が行われるために、どんなしくみがつくられているのでしょうか</p> <p>※独占禁止法違反の具体例を紹介する。</p> <p>・自由な競争、市場の動きにまかせると逆に困る商品はないのでしょうか。</p> <p>※2000年に米カリフォルニアでおきた停電について説明し、考えさせる。</p>	<p>読み取り</p> <p>解釈</p> <p>読み取り</p> <p>解釈</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュース ・ゲーム</li> <li>・車 ・携帯電話</li> <li>・ビール ・パソコン</li> <li>・価格が高くなる</li> <li>・よい商品を選択できない</li> <li>・公正取引委員会</li> <li>・独占禁止法</li> <li>・電気、ガス、水道、電車</li> <li>・生活に影響のあるもの</li> </ul>
終末	<p>6 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 市場の限界とその対応について、自分の言葉で説明する。</p> <p>(2) 市場にまかせべきではない商品の価格について、自分の言葉で説明する。</p> <p>7 次時の課題意識を持つ。</p> <p>(1) 消費者庁が設立した経緯のあらましを確認する。</p>	⑫消費者庁	<p>・市場がうまくはたらかないときはどんなときでしょうか</p> <p>・なぜ電気・ガス・水道などの料金は市場の動きにまかせていけないのでしょうか</p> <p>※数人に発表させる</p> <p>2009年9月1日に新たにできた国の役所は何でしょうか</p>	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独占や寡占の状態になると価格が高く設定されやすく消費者にとって不利になる</li> <li>・生活に欠かせない商品の価格が高くなりすぎると、生活が成り立たないので、政府が価格を管理している。</li> </ul>

【資料7】「明治維新」（第2学年）の事後テスト

問題 次の文を読んで、あとの各問いに答えなさい。

江戸幕府にかわってできた新しい政府は、1871年にA<sup>はいはんちけん</sup> 廃藩置県を行い、新政府が全国を直接治める中央集権のしくみをつくった。その後、徴兵令<sup>ちようへいれい</sup>やB<sup>しよくさんこうぎよう</sup> 殖産興業などのC<sup>ふこくきようへい</sup> 富国強兵策を行い、D<sup>おおくましのぶ</sup> 欧米列強に対抗できる新しい国家の建設を進めた。

(1) 下線部Aについて、次のア～エのうち、新政府が行った<sup>はいはんちけん</sup> 廃藩置県について述べているものはどれですか。一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 政府によって新たに任命された府知事・県令が中央から派遣された。
- イ 住民の直接選挙によって都道府県の知事が選出されることになった。
- ウ 幕府は、藩のとりつぶしや領地がえを行うなど大名の配置を工夫した。
- エ 強い統一国家をつくるため、<sup>さつまはん</sup> 薩摩藩と<sup>ちようしゅうはん</sup> 長州藩は同盟し、倒幕をめざした。

平成16年度岩手県立高等学校入学者選抜学力検査社会（以下「学検」と示す）  
問題9(2) 正答 ア 正答率 県53% 本実践69%

(2) 下線部Bについて、次のア～エのうち、新政府が行った<sup>しよくさんこうぎよう</sup> 殖産興業について述べているものはどれですか。一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 技術革新が進められるとともに、各地に石油化学工業地域がつけられた。
- イ 製糸工場など、<sup>もはん</sup> 模範となる工場が各地に建設され、技術の普及が図られた。
- ウ 新たに、<sup>びつちゆう</sup> 備中ぐわや<sup>せんぼ</sup> 千歯こきなどが使われ、各地で農具の改良が進められた。
- エ 薬品や化学肥料の国産化が進められるとともに、水力発電所が各地に建設された。

平成15年度学検 問題4(2) 正答 イ 正答率 県78% 本実践89%

(3) 下線部Cについて、右の絵は、新政府の改革によって始まった小学校教育のようすを描いたものです。次のア～エのうち、小学校教育について定めたものはどれですか。一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア <sup>がくせい</sup> 学制
- イ <sup>きよういくちよくご</sup> 教育勅語
- ウ <sup>ごかじよう</sup> 五箇条の<sup>せいもん</sup> 誓文
- エ <sup>ていこく</sup> 大日本帝国憲法

掛け図を用いた小学校の授業を描いた絵

平成20年度学検 問題6(1) 正答 ア 正答率 県51% 本実践91%

(4) 下線部Dについて、政治や産業、社会の状況などを視察するため、政府の使節団の大使として欧米に派遣された人物は誰ですか。次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア <sup>いたがきたいすけ</sup> 板垣退助
- イ <sup>いわくらともみ</sup> 岩倉具視
- ウ <sup>おおくましのぶ</sup> 大隈重信
- エ <sup>さいごうたかもり</sup> 西郷隆盛

平成21年度学検 問題6(1) 正答 イ 正答率 県86% 本実践93%

【資料 8】「武家政治の始まり」（第 1 学年）の事後テスト

問題 1 右の資料は、ある幕府のおもなしくみを示したものです。この幕府を開いた人物の名前を書きなさい。

平成20年度岩手県中学校学習定着度状況調査  
 中学校第2学年社会（以下「学調」と示す）  
 問題 8 (1) 正答 源頼朝  
 正答率 県36% 本実践65%



問題 2 鎌倉幕府の説明として正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 鎌倉幕府は、最初から最後まで代々源氏が中心となって治めていた。
- イ 鎌倉幕府は、源氏と北条氏が交代で政治を進めていた。
- ウ 鎌倉幕府は、後半になると、勢力を盛り返した平氏によって実権を奪われた。
- エ 鎌倉幕府は、源氏が絶えると北条氏に実権が移った。

平成19年度学調 問題10(4) 正答 エ 正答率 県70% 本実践76%

問題 3 次の文はある戦乱の結果について述べたものです。このようなできごとをもたらした戦乱を、下のア～エのうちから1つ選び、その記号を書きなさい。

幕府は京都の監視を強め、後鳥羽上皇側についた武士の領地を没収した。  
 ア 応仁の乱      イ 承久の乱      ウ 壬申の乱      エ 保元の乱

平成20年度学検 問題 4 (3) 正答 イ 正答率 県67% 本実践80%

問題 4 右の資料は、鎌倉時代のある農民の訴えの一部を要約したものです。農民がこのような訴えをおこした背景としてあてはまるものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 有力な農民の中には、開墾にはげんで領地を広げ、豪族として勢力をのばす者が現れるようになった。
- イ 有力な農民は、惣という自治組織をつくって団結を強め、寄合を開いて村のおきてや行事などについて話し合った。
- ウ 農村で米と麦の二毛作が広まるとともに、農民は、荘園領主からと、幕府から任命された武士からの二重の支配を受けた。
- エ 農民の中には、租・調・庸などの税や、労役などの負担から逃れるために、口分田を捨てて、ほかの土地に移る者が現れるようになった。

謹んで申し上げます。  
 領主様へ納める材木がおくれていることについてですが、地頭が、上京、あるいは急用といった、大ぜいの者をこき使いますので、まったく暇がありません。わずかに残った者を、材木の切り出しにやれば、逃げ出した農民の畑に麦をまけといて追い返し、まかないと妻や子をつかまえていじめると責めたてるので、ますますおそくなってしまいました。  
 (「高野山文書」より)

平成21年度学調 問題 8 (1) 正答 ア 正答率 県36% 本実践70%

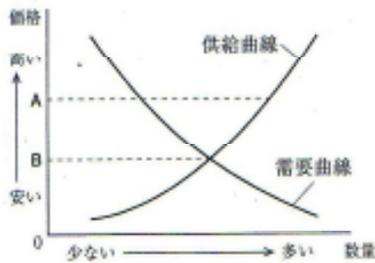
【資料9】「暮らしを支える経済」（第3学年）の事後テスト

問題1 次のア～エの商品のうち、サービスにあたるものはどれですか。一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 運動着      イ 自転車      ウ カメラ      エ クリーニング

平成16年度学検 問題7(1) 正答 エ 正答率 県94% 本実践94%

問題2 次の図はある商品の需要と供給と価格の関係を表したものです。また次の文は、この図について述べたものです。下のア～エのうち、文中の(X)，(Y)に入ることばの組み合わせとして正しいものはどれですか。一つ選び、その記号を書きなさい。



供給曲線は、(X)の行動をあらわすもので、価格がAのとき、供給量は需要量より(Y)なので、価格は下降し、結果として価格は、需要量と供給量の一致するBの価格に落ち着く。このBを均衡価格きんこうという。

	ア	イ	ウ	エ
X	生産者	生産者	消費者	消費者
Y	多い	少ない	多い	少ない

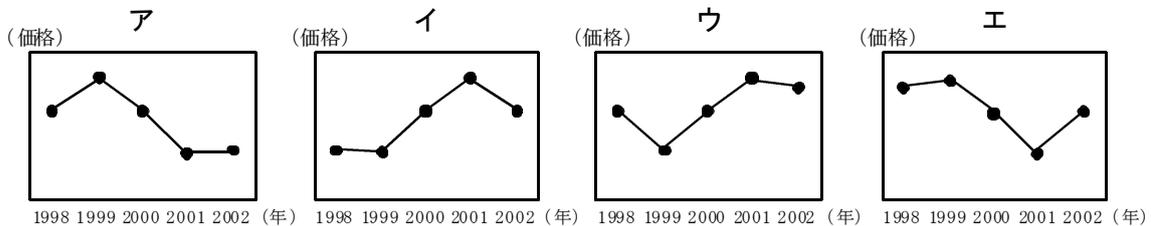
平成21年度学検 問題5(1) 正答 ア 正答率 県62% 本実践81%

問題3 次の表は、1998年から2002年の岩手県内のサンマの水揚げ量の推移を示しています。この表のサンマの水揚げ量の場合、需要量が変わらないとすると価格はどのように変化すると考えられますか。次のア～エのうち、その価格の変化を表すグラフとして最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

岩手県内のサンマの水揚げ量の推移 (単位：トン)

年(西暦)	1998	1999	2000	2001	2002
水揚げ量	23,995	23,257	37,831	51,150	32,242

(平成16年度版岩手県統計年鑑より作成)



平成18年度学検 問題3(1) 正答 ア 正答率 県64% 本実践74%

問題4 電気・ガス・水道の料金などの価格のように、国や地方公共団体が適切な水準で管理している価格を何と言いますか。ことばで書きなさい。

平成21年度学検 問題5(2) 正答 公共料金 正答率 県64% 本実践74%

# アンケートのお願い

組 番 氏名 \_\_\_\_\_

5日間に渡り、私の授業の相手をしていただきありがとうございました。みなさんが意欲的・協力的に臨んでくれたおかげで、とても充実した5時間を過ごすことができました。今後の私自身の研究の参考にしますので、下の各項目への回答をお願いします。

それぞれの質問について、あなたの考えに最も近いものを選んで、番号に○をつけてください

当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
-------	---------------	-----------------	---------

- |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① 社会の勉強は好き……………                             | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| ② 普段の社会の授業はよく理解できる……………                     | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| ③ 今回の社会の授業（全5時間）はよく理解できた…                   | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| (1) 第1時（どうして武士が力をのばしたのか）…                   | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| (2) 第2時（頼朝はどんな政治を行ったのか）……                   | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| (3) 第3時（承久の乱～どちらに味方するか～）…                   | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| (4) 第4時（武士と農民の暮らしのようす）……                    | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| (5) 第5時（元寇はどんな影響を与えたのか）……                   | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| ④ 授業では、いろいろな資料から読み取ったことを書くことができた……………       | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| ⑤ 授業では、前に学習したことや資料を基に、自分なりの考えを持つことができた…………… | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| ⑥ 授業では、自分なりの考えを、他の人に伝えることができた……………          | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |
| ⑦ 授業でわかったことを、最後に自分の言葉でまとめることができた……………       | ① | — | ② | — | ③ | — | ④ |

それぞれの質問について、あなたの考えを自由に書いてください。

- ⑧ 今回の授業で、普段の授業と比べて「違うなあ」と感じたことはどんなことでしたか

- ⑨ 今回授業を受けた感想を自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました